

聖隷浜松病院医学雑誌 投稿規定

1. 投稿資格

投稿者は、本院職員及び病院医学雑誌編集委員会の認める者とする。

2. 投稿の種類、内容

- ① 本誌は原則として、総説、原著、症例報告、短報、CPCの記録、RCPCの記録、外国紙要覧を掲載する。用語は、和文または英文とする。
- ② 過去に他誌に掲載されたことのないもので、現在も他誌に掲載が予定されていないものに限る。

3. 投稿の仕方

院内LANによる投稿を推奨する。

4. 執筆要領

原稿は和文または英文とする。原稿はA4版に横書きし、ダブルスペースで作成する。原稿には、ページ下中央にページ番号及び行番号を付ける。行番号は最初から連続番号とし、ページごとに変えないこと。

和文の句読点は「、。」に統一する。数字及び英字は原則として半角、仮名・漢字・カタカナは全角で記入する。本文の見出し順位は、以下の通りとする。

- I. II. III. …
- 1. 2. 3. …
- 1) 2) 3) …
- (1) (2) (3) …

【総説】・【原著】・【症例報告】の場合

- 1) タイトルページには和文表題、英文表題、著者名、所属、キーワード、利益相反の開示を記載する。タイトルページと本文は分ける。利益相反の開示は、利益相反(conflict of interest)を明示すること。利益相反のある場合には、関係した企業・団体名・具体的内容（研究費・その他の助成、競合関係など）を明記すること。論文の採否には影響しない。

記載例

利益相反が無い場合：開示すべき利益相反状態はありません。

利益相反がある場合：今回の投稿に関連して、開示すべき利益相反状態は以下のとおりです。

- ・報酬 / ○○株式会社
- ・講演料 / △△株式会社
- ・寄付金 / □□株式会社
- ・研究費・助成金 / ○○株式会社

- 2) 要旨およびキーワード

要旨文字数は、和文の場合は原則800字以内。英文の場合は350ワード以内とする。

キーワードは、日本語または英語で5語以内。日本語については医学中央雑誌刊行会の『医学用語シソーラス』、英語については『医学件名標目表・Medical Subject Headings』に準拠することが望ましい。

- 3) 本文は以下の通りとする。

【総説】

本文文字数は原則8000字以内とする。

【原著】

緒言、対象および方法、結果、考察（考按）、結語の順とする。本文文字数は原則8000字以内とする。

【症例報告】

論文の構成は、要約、緒言、症例、考察（考按）の順とする。本文文字数は原則8000字以内とする。

- 4) 謝辞

謝辞は、論文をまとめるにあたって協力や支援をしてくれた人や団体に感謝の意を示すところである。団体等から研究費助成を受けた場合も謝辞に含め、事実のみを簡潔に記載する。

- 5) 引用文献

文献は引用順に配列して本文の末尾に一括し、本文中に引用番号をつける。著者名は3名まで記載し、4名以降は「他」[et al]とする。

【雑誌の場合】

文献番号. 著者名. 論文表題. 雑誌名(略称). 発行年; 巻(号) : 初頁-終頁.

例1) 岩崎康. 膜型人工肺(ECMO)を用いて救命した劇症型心筋炎の1幼児例. 日小循誌2000; 16(2): 179-184.

例2) Crachtchouk M, Mo R, Yu S, et al. Basal cell carcinomas in mice overexpressing Gli2 in skin. Nat Genet 2000; 24(2): 216-217.

【書籍の場合】

文献番号. 著者名: 論題名 *in* 編集者名: 書名. 巻 (または版数). (発行者名, 発行地, 発行年), pp.初頁~終頁.

例1) 藤田公生: 尿路の機械的検査・内視鏡的検査・泌尿器科の基本手技 *in* 小柳知彦, 村井勝, 大島伸一: 泌尿器科学講座 第1巻. (メジカルビュー社, 東京, 1999) pp.134-152.

例2) Lionel H.O.: Mechanisms of Cardiac Contraction and Relaxation *in* Zipes.D.P.,Libby P.,Bonow R.O. et al: Braunwald's Heart Disease^{7th} Ed. (Elsevier Saunders, Philadelphia, 2005) pp.257-277.

【複数連続で引用する場合】

例1) propionic acid (AMPA)受容体に主に作用する¹¹⁾¹²⁾¹³⁾

例2) and a number of other surgical fields²⁾³⁾⁴⁾⁵⁾

6) 図・表

図・表ごとにタイトルをつけ、簡潔な説明文を付記すること。

【海外出張報告・短報・CPCの記録・RCPCの記録】などの場合

論文の構成は自由である。

文字数は原則4000字以内とする。

【外国誌要覧】の場合

本院職員が筆頭著者の論文の中で、Pub-Med収載の英文誌に対象の期間に受理されものの要約を記載する。要約の構成は、論文標題 (和文)、著者名、顔写真、要約 (和文)、論文標題 (英文)、雑誌名・巻号・頁・発行年 (英文)、図・表の順とする。要約文字数は原則800字以内、図・表は1枚以内とする。

5. 図・表

図・表はデジタルデータを提出する。図の解像度は300dpi以上が望ましい。日本語の場合は「図」「表」と記し、英文の場合は「Fig」「Tab」とし、複数の場合は一連番号を付け、本文中の挿入箇所に図・表番号を明記する。図が複数の図で構成される場合は著者自身でレイアウトを決めて、A,B,C…の小項目を付ける。

症例紹介時などの患者顔写真は目隠しをするなど、個人が特定できる資料については適切に配慮すること。

【原著】は図・表と合わせて15枚以内とする。

【総説】・【症例報告】・【海外出張報告・短報・CPCの報告・RCPCの記録】は図・表と合わせて8枚以内とする。

6. 論文の査読

投稿された原稿はすべて、原則として2名によって査読を行う。専門的に係わる場合には編集委員以外の職員によって査読を行う。論文の採否は病院医学雑誌編集委員会により決定する。

7. その他

掲載された論文等の著作権は、当院に帰属する。

執筆要領 (詳細事項)

1. 標題や見出しは括弧 (「 」【 】《 》) で括ったり、*や○、番号をつけない。
(編集の段階で本文より1ポイント大きい文字 (ゴシック体) に全体を統一する)
2. 図・表内の文字は、大きさに配慮し (本文よりやや小さめを基準とする) 小さすぎて読めないような場合、全体を大きくするように調節する。
3. 文章は「である」調に統一する。
4. 略語を使う場合は、始めの部分に()で略の説明を入れる。
例: Nutrition Support Team (以下、NST)
5. かな・漢字表記で全体として統一する場合、編集の段階で直させていただく場合がありますので、ご了承下さい。
例: 尚 → なお
行なった → 行った
6. 参考文献、資料は「文献」としてまとめ、1) 2) と表記し、本文中の引用番号は右肩に表記する。
7. 氏名の表記で名前が漢字1文字の場合の、姓と名の間に1スペースを入れる。
例: 佐藤学 → 佐藤 学
8. 患者の個人情報保護に十分配慮する。特に希少疾患等で、受診日や手術日から個人の特定がされやすい場合は十分注意する。

付記

EndNote利用者は、当院アウトプットスタイルが使用可能である。